

重点テーマの位置づけ

・「信州未来共創戦略」における、「2050年にありたい姿」、**「2030年に目指す旗」**といった中長期的なゴールを達成するため、特に「人財確保・生産性向上」の対象として取り組むべき課題は多数存在。

・様々な課題のうち、目下の経済状況・労働問題等を捉え、特に取り組むべき課題を「重点テーマ」として設定し着手してはどうか。

・重点テーマは次回以降、**取組状況等を定点観測して進捗評価**を行うとともに、テーマ設定については、本会議での議論や構成員の申し出等により**追加・変更も含めて検討**していきたい

重点テーマ設定の考え方

・テーマ自体の特性に応じた議論・取組の場が必要となることから、重点テーマを次のように区分してはどうか。

①地域展開テーマ：地域の実情に応じて取り組むもの
地域の実情に沿った取り組みが期待できるテーマ

②全県展開テーマ：連携会議・地域会議共通で取り組むもの
個々の企業や地域だけでは解決が難しく、県全体が同じ方向を向いて取り組むことが必要なテーマ

重点テーマ（案）

上記に基づき、以下を重点テーマとしてはどうか

①【地域展開テーマ】地域産業を担う人材の確保・育成の推進について（キャリア教育）

選定理由

- ・ 将来の地域を担う人材を育てる、**長期的・根源的な対策として不可欠**なため。
- ・ 地域の産業や企業そのものが教材となり、地域課題に根差した**各地域の特色を最も活かせる取組**となるため。
- ・ 若者の県外流出という最重要課題に対し、**早期の地域理解が地元定着やU・Iターンの促進に直結**するため。

②【全県展開テーマ】県内企業が生産性を向上するために必要な取組（設備投資や技術革新、価格転嫁等）

選定理由

- ・ 企業が持続的に成長するためには、**省力化に繋がる設備投資やDX等の技術革新**が不可欠であるため。
- ・ 企業の挑戦を支える土台として、コスト上昇分を適切に反映させる公正な取引環境の醸成（**価格転嫁の推進**）が、共通課題であるため。